

令和 4 年度

社会福祉法人東平田福社会
事業報告書

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 31 日

目 次

1	法人本部拠点事業報告書	1
2	東平田保育園拠点事業報告書	9
3	あずま拠点事業報告書	15
	(1) デイサービスセンターあずま	17
	(2) あずま指定居宅介護支援事業所	21
	(3) ホームヘルプサービスあずま	24
4	特別養護老人ホーム拠点事業報告書	27
	(1) 特別養護老人ホームあずま	
	(2) ショートステイあずま	
5	地域包括支援センターひがし拠点事業報告書	35

法人本部拠点事業報告書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

社会福祉法人東平田福社会

令和4年度社会福祉法人東平田福祉会 法人本部拠点事業報告書

1 概況

令和4年度は、一昨年から新型コロナウイルス感染症の蔓延が収まらず、昨年同様大変厳しい環境下、「地域の安心・安全・健康等」に積極的にかかわる「地域に信頼される福祉会」としての責任を再認識し、保育園・デイサービス・居宅支援事業所・ホームヘルプサービス・特別養護老人ホーム・ショートステイ・包括支援センターの7事業を展開した。

令和4年度法人の決算状況については、資金収支計算書における当期末支払資金残高は1億8,912万5,215円（前年度1億4,226万8,702円）で、前年度より4,685万6,513円の増。事業活動計算書における次期繰越活動増減差額3億6,412万0,953円（前年度3億6,251万5,100円）で、前年度より160万5,853円の増。法人の純資産は、5億5,616万3,618円（5億4,973万9,874円）で、前年度より642万3,744円の増となった。

規程等の改正については、令和5年3月理事会において、利用者減に伴いホームヘルプサービスあずま事業所を令和5年4月から1年間休止する議案及び職員の給与アップを図る給与規程の改正並びに役員報酬等規程の改正を全会一致で承認された。

大きな事業としては、令和5年2月、国の全額補助を受けて、特別養護老人ホームあずまへ災害時72時間以上の長時間連続稼働する非常用自家発電設備3基（LPガス）設置しており、大規模な災害で停電など発生した際、入居者の安全な生活を確保し、地域の要援護者を受け入れる福祉避難所として、自家発電設備は重要な役割を担うものと考えている。

令和4年3月以降のウクライナ情勢の影響等により電気料金が高騰していることから、特別養護老人ホームあずまに、再生可能エネルギーの太陽光発電を導入し、電力コストの削減を図るとともに、二酸化炭素の排出を減らし、地球温暖化防止に貢献するもので、令和5年3月理事会において、太陽光発電パネル機器設置工事の契約方式等についての議案を提出、全会一致にて承認された（稼働は、令和5年7月以降）。

令和4年12月、職員の福利厚生として、昨年度に続き忘年会がコロナ禍により中止したことから、「酒田の美味しいグルメ」を現品支給した。

2 法人の概要

(1) 法人名 社会福祉法人東平田福祉会

(2) 所在地 酒田市関字向126番地の2

(3) 設立認可年月日 昭和49年4月18日

(4) 法人事業

① 第1種社会福祉事業

ア 特別養護老人ホームの経営（特別養護老人ホームあずま：定員29名）

（平成27年4月1日指定）

② 第2種社会福祉事業

ア 保育所の経営（東平田保育園：定員80名）

（昭和48年10月1日認可）

・令和2年4月より、定員60名に変更（令和元年10月10日理事会承認）

イ 老人デイサービス事業の経営（デイサービスセンターあずま：定員27名）

（平成12年4月1日指定）

・令和3年4月1日より、定員25名に変更（令和3年3月23日理事会承認）

ウ 老人介護支援センターの経営（あずま指定居宅介護支援事業所）

（平成12年4月1日指定）

- エ 老人居宅介護等事業の経営（ホームヘルプサービスあずま）（平成12年11月22日指定）
 オ 老人短期入所事業の経営（ショートステイあずま：定員12名）（平成22年5月1日指定）
 カ 一時預かり事業の経営（東平田保育園）（平成22年8月1日開始）
- ③ 公益事業
 ア 地域包括支援センターひがし（平成18年4月1日指定）
 イ 介護予防支援事業（平成18年4月1日指定）

3 役員、評議員及び評議員選任・解任委員会の構成並びに開催状況

(1) 役員及び評議員の構成（令和5年3月31日現在）

① 役員（任期：令和3年6月18日～令和4年度会計に関する定時評議員会の終結の時まで）

ア 理事（7名）

理事長 佐藤 弘 理事 菅沼 実 理事 佐藤 薫
 理事 佐藤 次雄 理事 高橋 康 理事 阿部 雅弘
 理事 堀 由美子

イ 監事（2名）

監事 土田 一男 監事 土田 良行

② 評議員（任期：令和3年6月18日～令和7年度の定時評議員会の終結の時まで）

ア 評議員（9名）

評議員 加藤 眞弓 評議員 前田 茂 評議員 守屋新一郎
 評議員 大井 茂則 評議員 荘司 秀明 評議員 土田 秀二
 評議員 佐藤 秀之 評議員 後藤 金弥 評議員 堀 伸

③ 評議員選任・解任委員会委員

（任期：令和3年6月18日～令和7年度会計の定時評議員会の終結の時まで）

ア 評議員選任・解任委員会委員（5名）

委員長 土田 一男 委員 茂木 寛治 委員 齋藤 喜一
 委員 長沢 清 委員 小野寺憲治

(2) 理事会開催状況

開催年月日	内 容
令和4年6月3日 (金) (第1回)	・第1回理事会（出席者：理事7名全員、監事2名全員） ・理事長職務執行状況報告 ・報告第1号 令和3年度社会福祉法人東平田福祉会事業報告について ・第1号議案 令和3年度社会福祉法人東平田福祉会計算書類等の承認について ・第2号議案 令和3年度社会福祉法人東平田福祉会法人本部拠点決算の承認について ・第3号議案 令和3年度社会福祉法人東平田福祉会東平田保育園拠点決算の承認について ・第4号議案 令和3年度社会福祉法人東平田福祉会あずま拠点決算の承認について ・第5号議案 令和3年度社会福祉法人東平田福祉会特別養護老人ホーム拠点決算の承認について

開催年月日	内 容
	・第6号議案 令和3年度社会福祉法人東平田福祉会地域包括支援センターひがし拠点決算の承認について ・第7号議案 社会福祉法人東平田福祉会給与規程の一部改正について ・第8号議案 令和4年度社会福祉法人東平田福祉会東平田保育園拠点第1次補正予算について ・第9号議案 令和4年度社会福祉法人東平田福祉会あずま拠点第1次補正予算について ・第10号議案 令和4年度社会福祉法人東平田福祉会地域包括支援センターひがし拠点第1次補正予算について ・第11号議案 社会福祉法人東平田福祉会定時評議員会の招集について
令和4年9月9日 (金) (第2回)	・第2回理事会 (出席者:理事7名中6名、監事2名中1名) ・理事長職務執行状況報告 ・その他 (1) LED照明への切り替えについて (2) 厨房の業務委託について (3) 特養拠点の敬老会について
令和4年12月23日 (金) (第3回)	・第3回理事会 (出席者:理事7名全員、監事2名全員) ・理事長職務執行状況報告 ・第1号議案 令和4年度社会福祉法人東平田福祉会法人本部拠点第1次補正予算について ・第2号議案 令和4年度社会福祉法人東平田福祉会東平田保育園拠点第2次補正予算について ・第3号議案 令和4年度社会福祉法人東平田福祉会あずま拠点第2次補正予算について ・第4号議案 令和4年度社会福祉法人東平田福祉会特別養護老人ホーム拠点第1次補正予算について ・第5号議案 令和4年度社会福祉法人東平田福祉会地域包括支援センターひがし拠点第2次補正予算について ・非常用発電設備設置工事の契約方式等について ・新電力への切り替えと太陽光発電について ・生命保険の解約について
令和5年2月13日 (月) (第4回)	・第4回理事会 (出席者:理事7名中6名、監事2名全員) ・報第1号議案 専決事項の報告について (社会福祉法人東平田福祉会地域密着型特別養護老人ホームあずま非常用自家発電設備設置工事の契約方式等) ・第1号議案 請負契約の締結について (社会福祉法人東平田福祉会地域密着型特別養護老人ホームあずま非常用自家発電設備設置工事) ・その他 (1) 太陽光発電の設置について (2) 新年度の職員体制等について
令和5年3月23日 (水) (第5回)	・第5回理事会 (出席者:理事7名全員、監事2名中1名) ・理事長職務執行状況報告 ・第1号議案 令和4年度社会福祉法人東平田福祉会東平田保育園拠点第

開催年月日	内 容
	3次補正予算について ・第2号議案 令和4年度社会福祉法人東平田福祉会あずま拠点第3次補正予算について ・第3号議案 社会福祉法人東平田福祉会ホームヘルプサービスあずま事業所の休止について ・第4号議案 社会福祉法人東平田福祉会給与規程の一部改正について ・第5号議案 社会福祉法人東平田福祉会準職員等給与規程の一部改正について ・第6号議案 社会福祉法人東平田福祉会再雇用職員給与規程の一部改正について ・第7号議案 社会福祉法人東平田福祉会役員等報酬規程の一部改正について ・第8号議案 令和5年度社会福祉法人東平田福祉会法人本部拠点事業計画について ・第9号議案 令和5年度社会福祉法人東平田福祉会法人本部拠点予算について ・第10号議案 令和5年度社会福祉法人東平田福祉会東平田保育園拠点事業計画について ・第11号議案 令和5年度社会福祉法人東平田福祉会東平田保育園拠点予算について ・第12号議案 令和5年度社会福祉法人東平田福祉会あずま拠点事業計画について ・第13号議案 令和5年度社会福祉法人東平田福祉会あずま拠点予算について ・第14号議案 令和5年度社会福祉法人東平田福祉会特別養護老人ホーム拠点事業計画について ・第15号議案 令和5年度社会福祉法人東平田福祉会特別養護老人ホーム拠点予算について ・第16号議案 令和5年度社会福祉法人東平田福祉会地域包括支援センターひがし拠点事業計画について ・第17号議案 令和5年度社会福祉法人東平田福祉会地域包括支援センターひがし拠点予算について ・第18号議案 社会福祉法人東平田福祉会苦情解決第三者委員の選任について ・第19号議案 社会福祉法人東平田福祉会苦情解決第三者委員の選任について ・第20号議案 社会福祉法人東平田福祉会苦情解決第三者委員の選任について ・第21号議案 社会福祉法人東平田福祉会太陽光発電パネル機器設置工事の契約方式等について

(3) 評議員会開催状況

開催年月日	内 容
令和4年6月20日 (月) (第1回)	・ 定時評議員会 (出席者: 評議員 9 名中 7 名、理事 2 名、監事 2 名) ・ 各事業所の近況報告 ・ 報告第 1 号 令和 3 年度社会福祉法人東平田福祉会事業報告について ・ 第 1 号議案 令和 3 年度社会福祉法人東平田福祉会計算書類等の承認について ・ 第 2 号議案 令和 3 年度社会福祉法人東平田福祉会法人本部拠点決算の承認について ・ 第 3 号議案 令和 3 年度社会福祉法人東平田福祉会東平田保育園拠点決算の承認について ・ 第 4 号議案 令和 3 年度社会福祉法人東平田福祉会あずま拠点決算の承認について ・ 第 5 号議案 令和 3 年度社会福祉法人東平田福祉会特別養護老人ホーム拠点決算の承認について ・ 第 6 号議案 令和 3 年度社会福祉法人東平田福祉会地域包括支援センターひがし拠点決算の承認について ・ 監事による監査報告 ・ その他 (1) 保育士等及び介護職員等に対する処遇改善手当の支給について

4 苦情解決第三者委員の構成

① 委員 (3 名) (任期: 令和 3 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日まで)

委 員 佐藤潤一郎 委 員 土田みゆき 委 員 櫻田 博

5 監事監査実施状況 (1 回)

開催年月日	内 容
令和4年5月26日 (木)	・ 令和 3 年度の監事監査実施。 (出席者: 監事 2 名、理事長、法人職員 5 名)

6 調整会議の開催

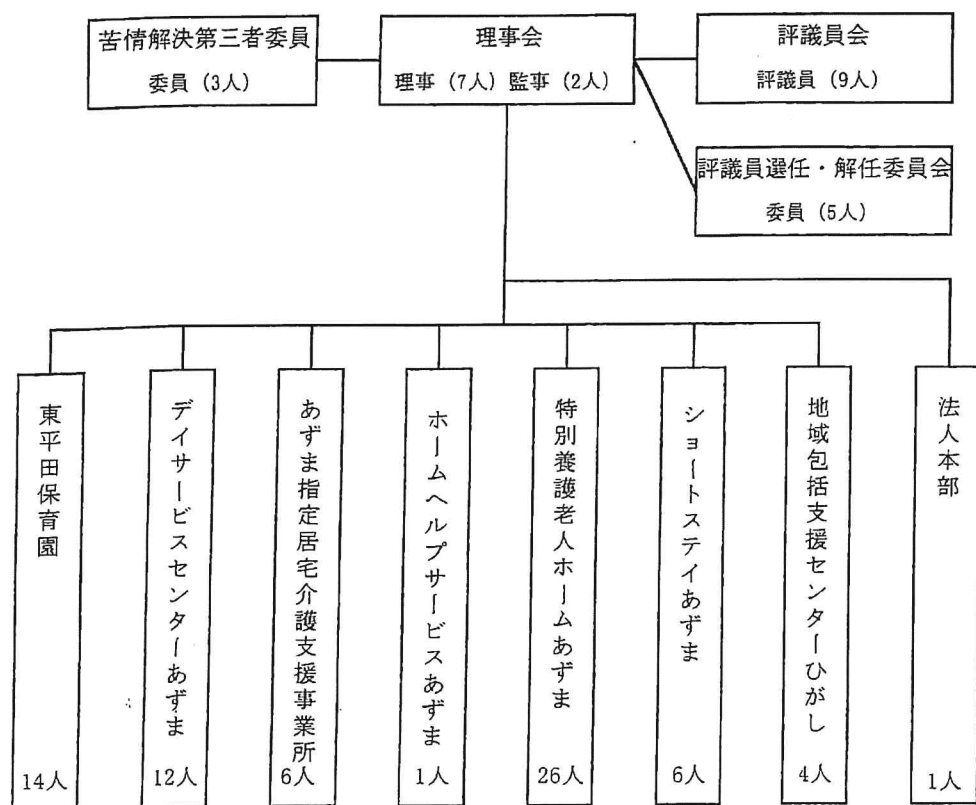
法人運営について、円滑な推進を図るため、毎月 1 回各事業の進捗及び収支状況等の確認並びに課題等について検討・調整等を行った。(構成: 理事長、所長、園長、施設長、事務長)

7 職員配置

職 名	氏 名	勤務形態	業 務	備 考
事 務 長	茂 木 寛 治	常勤専任	法人運営、施設管理等統括	
事 務 員	佐 藤 麻 衣	常勤専任	経理、その他庶務全般	R4. 8. 31退職
事 務 員	宇佐美 輝 子	常勤兼任	各種申請及び報告事務、その他庶務	特養及びショート相談員兼務

8 その他

(1) 法人組織図



(2) 事業所別職員数 (令和5年3月31日現在)

	常 勤		非常勤		男	女	計	実数
	男	女	男	女				
法人本部	1	0 (1)	0	0	1	0 (1)	1 (1)	1
東平田保育園	0	8	1	5	1	13	14	14
デイサービスセンターあずま	1	7 (1)	0	4	1	11 (1)	12 (1)	12
あずま指定居宅介護支援事業所	2	4 (1)	0	0	2	4 (1)	6 (1)	6
ホームヘルプサービスあずま	0	1 (1)	0	0 (2)	0	1 (3)	1 (3)	1
特別養護老人ホームあずま	8	14 (1)	3	1 (1)	11	15 (2)	26 (2)	26
ショートステイあずま	1 (1)	5 (3)	0 (3)	0 (1)	1 (4)	5 (4)	6 (8)	6
地域包括支援センターひがし	0	3	0	1	0	4	4	4
計	13 (1)	42 (8)	4 (3)	11 (4)	17 (4)	53 (12)	70 (16)	70

() 内は兼務

※特養：嘱託医除く

(3) 平均年齢 (令和4年4月1日現在)

形 態	平均年齢	形 態	平均年齢
正規職員	44.1歳	再雇用職員	62.0歳
臨時職員	46.9歳	パート職員	56.5歳
		全 職 員	52.4歳

東平田保育園拠点 事業報告書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

社会福祉法人東平田福祉会

令和4年度社会福祉法人東平田福祉会
東平田保育園拠点事業報告書

1 事業報告

人格が形成される大切な時期のお子さんをお預かりする保育園として、職員は、保育者としての役割とは何かをしっかりと意識して、日々の保育にあたっている。

保育園の定員は60名ではあるが、少子化に伴い、60名を切るという現状であり、3月末で45名となり、入所率は70%になっている。

新型コロナウイルス感染症の予防対策を行ないながら、できる限り行事も行ってきた。

コロナ禍前に行っていた夕涼み会は、外部からの来園を伴うことから、園内で子どもと職員のみで、普段の保育の中で行った。

運動会は、保護者の方の参観人数を2名までとし、園庭で行った。天気にも恵まれ、3年ぶりに園庭で行うことができ、保護者の方からとても喜ばれた。

クリスマス発表会も、各家庭2名までとして、保育園ホールで行った。

保護者参加型の行事は、2つしかできなかったが、普段の保育の中で、豊かな自然環境を活かし、また、園バスもあることから、春は金生沢の山にふき採り、秋は大森山へ行き、どんぐりや木の実拾い、探検などをして楽しんできた。職員は、日々子どもたちが楽しめることを考え、コロナの感染状況などを踏まえながら、園外保育も少しずつふやしてきた。

職員体制では、家庭の都合により、7月末で1名のパート職員が退職した。

酒田市法人保育園で行っている研修会や、自分のスキルアップのために外部の目的別研修に積極的に参加し、保育の質の向上に努めている。

2 保育事業内容

(1) 保育の実施

① 0歳児5歳児

ア 標準時間 午前7時15分～午後6時15分まで

イ 短時間 午前8時30分～午後4時00分まで

② 一時預かり保育 午前8時30分～午後4時00分まで

③ 延長保育

ア 標準時間 午後6時15分以降

イ 短時間 午後4時以降

④ 発達支援・育ちのサポート

酒田市子育て支援課・保健師と連携を取りながら行っている事業

3 令和4年度 年間行事のあしあと

月	行 事
4月	5日 入園式
	13日 交通安全教室 15日 保護者会役員会
5月	10日 園外保育～舞鶴公園～ 16日 園外保育～山へふき採り～（すみれ組）
	24日 スイミング教室（すみれ組） 31日 英語教室（すみれ組）
6月	2日 歯科検診 6日 眼科検診
	9日 園外保育～さくらんぼ狩り～（すみれ組・たんぽぽ組）
	14日 英語教室（すみれ組） 17日 耳鼻科検診
	21日 内科検診 24日 スイミング教室（すみれ組）
7月	1日 プール開き 7日 七夕まつり
	19日 英語教室（すみれ組） 22日 スイミング教室（すみれ組）
8月	10日 夏祭りごっこ 23日 スイミング教室（すみれ組）
9月	17日 運動会～サンサンかがやけひがしっこ～
10月	11日 交通安全教室 18日 英語教室（すみれ組）
	27日 園外保育～飯森山公園～（すみれ組）
	28日 ハロウィンパーティー
11月	12日 保育参観 15日 七五三詣り
	17日 巡回サッカー教室（すみれ組）
12月	17日 クリスマス発表会
	《合 奏》 カイト 《表 現》 くれよんのくろくん
	20日 内科検診
1月	26日 記念写真撮影
2月	3日 豆まき 15日 交通安全教室
3月	3日 ひなまつり 17日 おわかれパーティ
	19日 卒園式 ～ぼくたち わたしたちの おわかれの日～（すみれ組）

※身体測定、誕生会、避難訓練は毎月実施

4 令和4年度月別入所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
4歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
3歳児	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
2歳児	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
1歳児	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5
0歳児	2	2	2	2	3	4	4	4	4	4	5	5
合計	43	43	43	42	43	44	44	44	44	44	45	45

5 年齢別・地区別園児数

	5歳児		4歳児		3歳児		2歳児		1歳児		0歳児	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
関							1					
境興野								1				
北 境	1					1			1			
寺 内		1						1				
金生沢				1						1		
矢流川			1	1				2				
大 平	1		1	1								
生 石	3	1	1		1	1				1		2
横 代		1										
滝野沢												
手蔵田		1										
新 橋		1	1	1					1	1		
日の出町							1					
東泉町					1							
旭新町				1								
末広町					1							
大宮町							1					
光ヶ丘								1				
飛 鳥		1										
北 目		1					1					
観音寺												1
北新町												1
日吉町									2	3	1	
小 計	5	7	4	5	3	2	4	5	2	3	1	4
合 計	12		9		5		9		5		5	
									総合計		45名	

6 職員配置状況

No.	職 名	氏 名	職務内容	備 考
1	園 長	阿 部 純 子	管理者	
2	主 任	門 脇 早 美	フリー	
3	調 理 師	佐 藤 由 香	給食／食育リーダー	
4	調 理 師	伊 藤 亜 紀	給食／食物アレルギーリーダー	
5	主任補佐	菅 原 綾 紗	2歳児クラス／乳児未満児保育リーダー	
6	保 育 士	生 石 由 香	5歳児クラス／3歳以上児保育リーダー	
7	保 育 士	池 田 華	3歳児クラス／絵本リーダー	
8	保 育 士	佐 藤 凜	4歳児クラス／安全管理リーダー	
9	保育助手	池 田 京 子	0.1歳児クラス／一時預かり保育	令和5年3月31日 退職
10	保育助手	飯 塚 妃佐子	0.1歳児クラス	
11	保育助手	大 倉 枝 里	0.1歳児クラス	
12	保育助手	長 沢 栄美子	2歳児クラス／療育支援	令和4年7月31日 退職
13	保育助手	後 藤 真 紀	0.1歳児クラス／延長保育	
14	保育助手	齋 藤 愛	0.1歳児クラス／延長保育	令和5年3月31日 退職
15	運 転 手	池 田 昭 年	保育園バス・バス管理	

あずま拠点事業報告書

- 1 デイサービスセンターあずま
- 2 あずま指定居宅介護支援事業所
- 3 ホームヘルプサービスあずま

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

社会福祉法人東平田福祉会

令和4年度 社会福祉法人東平田福祉会 あずま拠点事業報告書

I デイサービスセンターあずま

1 事業内容

通所介護・介護予防通所介護事業・予防・日常生活支援総合事業（通所型サービスA）の正な運営を確保するための人員及び管理運営に関する基準に沿った体制で業務にあたった。

利用者が住み慣れた地域での在宅生活を継続することができるよう、入浴、排泄、食事等日常生活に必要な世話及び機能訓練を行った。機能訓練では身体機能、生活機能の維持向上を目的とし、機能訓練指導員により個別機能訓練計画に沿った機能訓練を実施した。

サービス提供時間は基本的に7時間以上8時間未満だが、各個人のニーズに合わせて半日利用や短時間利用のサービスも行っている。

令和3年7月16日より機能訓練指導員の異動により、個別機能訓練加算、運動器機能向上訓練加算を中止していたが、令和4年4月より機能訓練指導員配置となり、機能訓練加算算定している。令和4年10月より、介護職員ベースアップ等支援加算が創設されたことを受け加算算定している。

令和4年4月と令和4年10月からそれぞれ運転前のアルコールチェックが義務化されることになった。4月からは酒気帯びの有無の確認（運転前後の運転者の状態を目視などで確認）酒気帯びの有無記録の保存。10月からは、アルコール探知機を用いて酒気帯びの有無の確認を行っている。

令和4年度は、1日の平均利用者数が17.1名、稼働率 68.4 %の実績となった（新規利用者38名）。

今年度も、すこやかマスターズ介護予防事業を酒田市より受託。多目的交流センターを利用し、4クール延べ389名の東平田・中平田・北平田の地域住民が参加、介護予防に取り組んだ。

感染症対策、事故防止対策、高齢者虐待防止に向けた取り組みとして、他事業所も合同で各委員会を開催し、指針・マニュアルの整備、研修を実施している。業務継続に向けた取り組みの強化として、業務継続に向けた計画の策定、研修、訓練を実施するための委員会を発足している。

新型コロナウイルスの対策として、ホール、事務所、脱衣室に空気清浄機とCO2測定器の使用。各テーブルには飛沫感染防止パーテーションの設置。消毒、マスク着用、検温、室内の換気をこまめに行っている。外部からの立ち入り業者への消毒、マスク着用、検温も継続してお願いしている。ご利用者や職員ともに、体温が37.5度以上ある方はデイサービスへの立ち入りを禁止とした対応を行っている。徹底した対策はとっていたが、令和4年12月下旬よりご利用者のコロナウィルス感染者が急増し、ご利用者の安全確保のため12月29日、30日を臨時休業し、年始明けから通常に業務を行った。

今年度も、地域小学校の福祉体験、ボランティア慰問の受け入れは感染リスクを防ぐため中止。お花見や紅葉の外出ドライブは、感染症予防対策を徹底しながら行っている。

デイサービスセンターの建物の老朽化により、昨年度に引き続き玄関外の天井の破損ホール内の雨漏りの発生などがあり、その都度、修理や補修作業を依頼し対応している。

2 利用料金

サービス提供時間 7時間以上8時間未満

介護保険負担割合によって1割もしくは2割が利用者負担額

○指定介護予防通所介護相当サービス

認定区分	利用回数	1割負担	2割負担
要支援1	週1回程度	1672円	3344円
要支援2	週2回程度	3428円	6856円

(1か月定額)

選択サービス	1割負担	2割負担
運動器機能向上訓練 加算	225円	450円

(1か月定額)

・サービス提供体制強化加算 I 1

認定区分	1割負担	2割負担
要支援1	88円	176円
要支援2	176円	352円

(1か月定額)

・介護職員処遇改善加算 I

介護職員処遇改善加算 I	所定単位数の 5.9%
--------------	----------------

(1か月定額)

○通所型サービスA

・通所型独自サービス

認定区分	利用回数	1割負担	2割負担
要支援1	週1回程度	530円	1060円
要支援2	週2回程度	552円	1104円

(1日につき)

・介護職員処遇改善加算 I (1か月定額)

介護職員処遇改善加算 I	所定単位数の 5.9%
--------------	----------------

選択サービス	1割負担	2割負担
運動機能向上訓練 加算	225円	450円

(1か月定額)

・入浴 450円 (全額自己負担額)

・食費 600円 (全額自己負担額)

○通常規模型通所介護施設 (基本料金)

認定区分	1割負担	2割負担
要介護1	655円	1310円
要介護2	773円	1546円
要介護3	896円	1792円
要介護4	1018円	2036円
要介護5	1142円	2284円

(1日につき)

・サービス加算

	1割負担	2割負担
入浴介助加算	40円	80円
個別機能訓練 I 1	56円	112円

(1日につき)

・サービス提供体制強化加算 I

選択サービス	1割負担	2割負担
要介護1	22円	44円
要介護2	22円	44円
要介護3	22円	44円
要介護4	22円	44円
要介護5	22円	44円

(1日につき)

介護職員処遇改善加算 I	所定単位数の 5.9%
介護職員等ベースアップ等 支援加算	所定単位数の 1.1%

(1ヶ月定額)

・食費 600円 (全額自己負担額)

3 事業実施日

年末年始休業 (12月31日から1月3日) を除く月曜日から土曜日まで

4 営業時間

午前8時30分から午後5時15分 (サービス提供時間: 午前9時から午後4時15分まで)

5 事業の実施区域

酒田市内

6 1日利用定員

25名 (通所介護・介護予防通所介護・通所型サービスA含む)

7 職員の配置状況

(令和5年3月31日現在)

職 名	氏 名	形 態	資格等	備考
管 理 者	堀 由 美 子	常・兼	介護福祉士 社会福祉主事任用	
主 任	兵 藤 い く	常・兼	介護福祉士 社会福祉主事任用	
生活相談員	村 上 里 奈	常・兼	介護福祉士 社会福祉主事任用	
生活相談員 兼介護職員	斎 藤 学	常・兼	介護福祉士 社会福祉主事任用	
看 護 師	高 橋 博 子	常・専	準看護師	
看 護 師	遠 藤 れい子	非・専	正看護師	令和4年8月～勤務
機能訓練指導員	堅 田 美 智	常・専	正看護師	令和4年4月～配置
介護職員	後 藤 弘 美	常・専	介護福祉士	令和5年1月～勤務 ヘルパーから異動
介護職員	佐 藤 ゆ う	常・専	実務者研修	
介護職員	宍 戸 理 恵	常・専	初任者研修	
介護職員	斎 藤 美 樹	非・専	介護福祉士	令和5年3月退職
介護職員	佐 藤 理 香	非・専	介護福祉士	令和4年7月～勤務
調 理 員	庄 司 恵 美	非・専	調理師	
調 理 員	梶 原 英 子	非・兼	調理師	

8 行事等

4月	5月	6月	7月	8月	9月
お花見ドライブ	制作活動	合同避難訓練	七夕会	夏祭り	敬老会
行事食	行事食		スイカ割り		運動会
			行事食		行事食
10月	11月	12月	1月	2月	3月
合同避難訓練	紅葉ドライブ	クリスマス会	新年会	節分	ひな祭り会
紅葉ドライブ		行事食	行事食		行事食
東平田ふるさと文化祭（作品参加）					

9 月別利用者数

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
稼働日	26	26	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	308
要支援 事業対象者	51	42	43	55	53	63	72	68	63	57	58	55	680
要介護	409	372	380	368	383	389	392	404	371	347	359	410	4,584
合 計	460	414	423	423	436	452	464	472	434	404	417	465	5,264
1日平均	17.7	15.9	16.3	16.3	16.1	17.4	17.8	18.2	18.1	16.8	17.4	17.2	17.1

10 利用者状況

(1) 自治会ごとの登録利用者数

【東平田地区】

自治会名	登録人数	途中中止者
関	7人	
横代	5人	死亡者1人 入院1人
北境	6人	
寺内	3人	死亡者1人
金生沢	6人	施設入所1人 入院1人
矢流川	6人	死亡者1人 入院1人
生石	6人	施設入所1人 入院1人
滝野沢	3人	
大平	3人	
境興野	5人	施設入所1人
願瀬	1人	
合計	51人	死亡者3人 入院4人 施設入所3人 計10人

【中平田地区】

自治会名	登録人数	途中中止者
大多新田	3人	施設入所1人
中野新田	3人	死亡者1人 施設入所1人
手蔵田	5人	施設入所1人 入院1人
小牧	3人	死亡者1人
茨野新田	2人	入院1人
熊手島	2人	
土崎	1人	
勝保	1人	死亡者1人
合計	20人	死亡者3人 入院2人 施設入所3人 計8人

【北平田地区】

自治会名	登録人数	途中中止者
新青渡	4人	死亡者1人
漆曽根	5人	施設入所1人
久保田	1人	自宅静養1人
牧曽根	1人	
中野曽根	1人	
布目	1人	
上興野	1人	
合計	14人	死亡者1人 自宅静養1人 施設入所1人 計3人

【その他の地区】

自治会名	登録人数	途中中止者
東大町	1人	
寺田	1人	施設入所1人
上安田	1人	
飛鳥	1人	施設入所1人
山楯	1人	
合計	5人	施設入所2人 計2人

令和4年度 登録者数 計 90 人（施設入所、入院、死亡者23名含む）

(2) 地区別男女数

地区	男	女	計
東平田	10人	32人	41人
中平田	2人	9人	12人
北平田	2人	9人	11人
その他	1人	2人	3人
合計	15人	52人	67人

(3) 年齢別男女数

年齢	男	女	計
70～74歳	0人	1人	1人
75～79歳	3人	0人	3人
80～84歳	6人	6人	12人
85～89歳	3人	20人	23人
90～94歳	3人	19人	23人
95～100歳	0人	4人	4人
100～104歳	0人	1人	1人
合計	15人	52人	67人

(4) 介護度状況

介護度	人数
事業対象者	1人
要支援1	5人
要支援2	7人
要介護1	19人
要介護2	18人
要介護3	12人
要介護4	3人
要介護5	2人
合計	67人

令和5年3月31日現在 利用者数 計 67 人

II あずま指定居宅介護支援事業所

1 事業内容

居宅介護支援業務は、認知症や退院後のマネジメント等、家族や病院、地域包括支援センターからの新規の相談、支援から介護へ移行した利用者は、あずま居宅が担当し迅速な対応を行った。また介護期間が長期化した高齢者の死亡、家族が就労・高齢者世帯で施設入所を希望されるケースや、高齢者世帯、日中独居の認知症や身体的に不安を抱える高齢者やターミナルケア等のサービス調整に対応した。サービス調整時には、ご利用者に合ったサービス事業所の提案をパンフレット等で希望に添えるよう心がけた。

令和4年度は、新型コロナウイルスの感染が急拡大しクラスターが発生した為サービス事業所が休止になり急遽サービス調整に対応した。担当者会議、モニタリング訪問等は引き続き状況に合わせ電話や照会による開催を随時対応した。引き続きコロナウイルス感染予防対策を励行していく。

経験の長い主任資格のあるケアマネの退職や異動があり、1月より包括からの異動と新任者採用し、互いの業務に支障が出ないように予防プランを受託と職員間で相談や指導を受け事業所全体がケアプラン、予防プランマネジメントをスキルアップできるようにした。質の向上を目的とする他事業所との事例検討会の再開や地域包括支援センター主催のブロック研修、特定事業所研修計画に沿って内部研修を実施し、ケアマネジメントの質の向上に繋げた。

令和5年度は、新任者を1名常勤配置、1名が主任ケアマネ資格取得後には包括から協力体制をとっているのを解消予定。介護予防と状態悪化を食い止め、地域で自分らしく暮らし続けていくために、地域の協力や介護・医療と連携し、ご利用者・ご家族に寄り添ったマネジメントをしていく。また、感染予防対策の徹底と感染症や災害が発生した場合であっても、利用者に必要なサービスが安定的、継続的に提供される体制の構築に取り組んでいく。

令和4年度は、法人内委員会（あずま拠点）について「事故対策」「虐待防止」「感染予防」委員会立ち上げによりマニュアルが完成した。令和5年度も定期的に委員会を開催し原因究明と再発防止策の検討、マニュアルの見直し等行っていく。

2 サービス内容

- (1) 居宅サービス計画書の作成（介護予防も含む）
- (2) 利用者状態の把握、アセスメント
- (3) 居宅サービス事業者との連絡・調整、担当者会議
- (4) サービス実施状況の評価、モニタリング
- (5) 給付管理
- (6) 要介護認定、要支援認定申請に対する協力・援助
- (7) 相談業務
- (8) 要介護認定訪問調査

3 職員の職種、員数及び職務内容

事業所に勤務する職員の職種、員数及び職務内容は、次のとおりである。

- (1) 管理者 1名 常勤職員

管理者は、事業所の従業者の管理及び業務の管理を一元的に行うとともに、自らも指定
居宅介護支援事業の提供にあたる。

(2) 主任介護支援専門員 2名 常勤職員 (1名は管理者と兼務)

介護支援専門員 4名 常勤職員

介護支援専門員は、指定居宅介護支援と介護予防支援の提供にあたる。

4 営業日

事業所の営業日及び営業時間は、次のとおりである。

(1) 営業日 月曜日から金曜日までとする。ただし、祝日、12月29日から1月3日まで
を除く。

(2) 営業時間 午前8時30分から午後5時15分までとする。ただし、時間外は携帯電話へ
の転送により24時間体制。夜間・休日の緊急時または希望時の対応可。

5 事業所の実施

酒田市とする。

6 利用料金

自己負担はなし。

7 介護報酬

(1) 居宅介護支援費 (I)

〈取扱件数が40件未満の場合〉

要介護1、2 1,076 単位/月

要介護3、4、5 1,398 単位/月

① 特定事業所加算Ⅱ 407 単位

② 病院等と利用者に関する情報共有等を行うことに着目した評価 (医療と介護の連携)

・入院時情報連携加算 (I) ⇒ 200 単位/月 (入院後3日以内に情報連携)

・入院時情報連携加算 (Ⅱ) ⇒ 100 単位/月 (入院後7日以内に情報連携)

③ 退院・退所加算

・連携1回カンファレンス無 450 単位/月、有600 単位/月

・連携2回カンファレンス無 600 単位/月、有750 単位/月

④ 通院時情報連携加算 50単位/月

⑤ 緊急時等居宅カンファレンス加算 ⇒ 200 単位/月

⑥ 初回の支援に対する評価

・初回加算 ⇒ 300 単位 (初回時)

⑦ 末期の悪性腫瘍の利用者に対するケアマネジメントターミナルケアマネジメント
加算 ⇒ 400 単位

(2) 介護予防支援費

・介護予防ケアマネジメント費 I (要支援)

430 単位/月 包括からの委託費 3,942円

・介護予防ケアマネジメント費 II (A型 事業対象者)

209 単位/月 包括からの委託費 1,917円

・初回加算

300 単位/月 包括からの委託費 2,700円

8 職員の配置状況

職 名	氏 名	資 格	職務形態	備考
管理者兼介護支援専門員	堀 由美子	主任介護支援専門員	常勤／兼務	
主任介護支援専門員	齋 藤 百利子	主任介護支援専門員	常勤／専任	R4.12月 退職
主任介護支援専門員	渡 部 匠	主任介護支援専門員	常勤／専任	R5.1.1よ り就任
介護支援専門員	齋 藤 光	介護支援専門員	常勤／専任	
介護支援専門員	橋 本 由美子	介護支援専門員	常勤／専任	
介護支援専門員	池 田 祐三子	介護支援専門員	常勤／専任	
介護支援専門員	工 藤 まどか	介護支援専門員	常勤／専任	R4.4.1よ り就任
介護支援専門員	若 木 吉 実	介護支援専門員	常勤／兼務	R5.1.1よ り就任

Ⅲ ホームヘルプサービスあずま

1 事業内容

高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援のもとで、可能な限り住み慣れた地域での生活を継続することができるように、本人の能力に応じた日常生活の排泄や入浴、食事等の身体介護、調理や掃除、洗濯等の生活援助を行い、要介護状態を可能な限り防ぎ改善することを目的として業務にあたった。

総合事業対象者等の心身の特性を踏まえた自立支援サービスを包括、ケアマネジャー等関係機関と連携し、自立した生活が送れるように支援した。

この数年前より、利用者減少で経過している現状と介護職員不足もあり、ディとの兼務職としての空き時間はデイサービスへの協力体制をとった。

訪問介護の職員配置体制の継続が困難になってきたことと、他サービス事業所で対応が可能なため10月～12月の期間中に担当ケアマネと相談し引継ぎ終了。県、市と相談し、令和5年3月末で令和5年度は休止とした。

新型コロナウイルス感染症予防については、県・市からの通達に従い感染予防対策を行いながら業務にあたった。

2 訪問介護内容

介護保険給付対象サービスとして、利用者の居宅に訪問介護員を派遣し、利用者に対して入浴、排泄、食事等の介護、調理、洗濯、買い物等の生活援助、その他の日常生活上の世話をする訪問介護計画を作成し、提供した。

3 利用料金

(1) 介護保険給付

- ① 介護報酬 介護報酬告示額（介護保険負担割合証に記載の摘要欄に応じた自己負担額）
- ② 短期訪問時に対する評価による改正単位数

身体介護が 中心である場合	20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上
	167 単位	250 単位	396 単位	579 単位

生活援助が 中心である場合	20分以上 45分未満	45分以上	身体介護に引き続き生活援助を行う場合		
	183 単位	225 単位	20分以上	45分以上	70分以上
			67 単位	134 単位	201 単位

- ③ 平常時に時間帯（午前8時から午後8時）以外の時間帯のサービスの場合

ア 早朝（午前7時から午前8時まで） 25%増加

イ 夜間（午後6時から午後9時まで） 25%増加

- ④ 初回加算 1月につき +200 単位

- ⑤ 緊急時訪問介護加算 1回につき +100 単位

- ⑥ 生活機能向上連携加算 1月につき +100 単位

- ⑦ 介護職員処遇改善加算（Ⅰ）所定単位数（合計）×13.7%

(2) 総合事業 訪問型独自サービス (1月につき)

- ① 訪問型独自サービスⅠ 1,172 単位/月 週1回利用
 訪問型独自サービスⅡ 2,342 単位/月 週2回利用
 訪問型独自サービスⅢ 3,715 単位/月 週3回以上利用
 ※Ⅲは要支援2のみ利用
- ② 初回加算 1月につき +200 単位
- ③ 介護職員処遇改善加算 (Ⅰ) 所定単位数 (合計) ×13.7%

(3) 総合事業 訪問型独自サービス (利用回数に応じた利用料)

区 分	利用回数	単位数	本人負担額 (円)	
			2割	4割 (高額所得者)
訪問型独自サービスⅣ	週1回程度	267/回	534	1,068
訪問型独自サービスⅤ	週2回程度	271/回	542	1,084
訪問型独自サービスⅥ	週2回を超える程度	286/回	572	1,144
訪問型独自短時間サービス	20分未満 1月につき22回まで	166/回	332	664
初回加算	1月につき	200/回	400	800

4 事業実施日

(1) 事業日 月曜日から土曜日まで

5 事業実施地域

酒田市内

6 職員配置と職務内容

(1) 職員配置

職名	氏 名	資格	職務形態	備考
管理者	堀 由美子	社会福祉主事任用 介護福祉士	常勤/兼務	
ヘルパー サービス提供責任者	後 藤 弘 美	介護福祉士	常勤/専任	
ヘルパー	斎 藤 美 樹	介護福祉士	非常勤/兼務	
ヘルパー	兵 藤 陽 子	介護福祉士	非常勤/兼務	

(2) 職務内容

- ① 管理者 1名
 管理者は、事業所の従事者の管理及び業務の管理を一元的に行う。
- ② サービス提供責任者 (介護福祉士) 1名
 サービス提供責任は、事業所に対する指定訪問介護、総合事業訪問サービスの利用申し込みに係る整理、訪問介護員等に対する技術指導、訪問介護計画、訪問型サービスA (総合事業) の訪問介護作成等を行うとともに、自らも指定訪問介護、訪問型サービスA (総合事業) の提供にあたる。

③ 訪問介護員等

介護福祉士 1名（サービス提供責任者と兼務、常勤兼務）

介護福祉士 2名（非常勤）

訪問介護員等は、指定訪問介護、訪問型サービスA（総合事業）の提供にあたる。

7 ホームヘルプサービスあずま 利用状況（総合事業対象者も含む）

（1）世帯状況

	独居	老世帯	家族あり	合計
東平田	0	0	1	1
中平田	1	1	0	2
北平田	1	0	0	1
その他	1	0	0	1
計	3	1	1	5

（2）地区別男女

	男	女	計
東平田	0	1	1
中平田	1	1	2
北平田	1	0	1
その他	0	1	1
計	2	3	5

（3）自治会別利用者数

【東平田】

自治会名	人数
境興屋	1
計	4

【中平田】

自治会名	人数
熊手島	1
大多新田	1
計	2

【北平田】

自治会名	人数
牧曽根	1
計	1

【その他】

自治会名	人数
下黒川	1
計	1

（4）令和4年度実利用者等

① 令和4年度実利用者 5名

② 施設等への入所者数 0名

③ 他事業所へ 0名

④ 中止者 0名

⑤ 死亡者 0名

特別養護老人ホーム拠点 事業報告書

- 1 特別養護老人ホームあずま
- 2 ショートステイあずま

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

社会福祉法人東平田福祉会

令和4年度 社会福祉法人東平田福祉会
特別養護老人ホームあずま拠点事業報告書

1 事業報告

地域に開かれた入居者が安心して生活できる施設として、家族との信頼関係の構築や感染症対策や防災対策の整備など、これまでの課題や反省を踏まえ事業を展開し、安定した基盤を築けるよう取り組んだ。また、運営推進会議などを通して、関係機関の方々から助言・指導を受けながら健全な施設運営に努めた。

ユニットケアの特徴である、入居者がゆったりとした時間と家庭的な雰囲気の中で、生きがいを感じながら充実した生活を送って頂けるよう、個性を尊重しながら支援に努め、全体での行事はコロナ禍の影響でできなかったが、各ユニットごとに季節に応じた行事や、創作活動等やり遂げることで自信を深めていただく活動に取り組んだ。

コロナ禍の影響で地域との交流も機会が全て中止となり、広報紙の定期発行やホームページの内容を充実させ、施設の様子などを積極的に情報発信しPRに努めた。

令和4年度は入居者の死去・長期入院による退所が計13名で、前年度より増加したが、長期間の空床を改善し、入居予定者への迅速な対応を行った。また嘱託医との連携を図り、当施設においてできる限りのケアを行った。

ショートステイについては、長期間の利用希望や週末の利用希望が多く希望に沿えない部分もあったが、特養の空床利用や利用キャンセルがあった場合は、すぐに待機している方に連絡し利用につなげた。利用状況の報告や体調不良時の連絡なども家族やケアマネジャーに迅速に行い、信頼できるショートステイを目指し取り組んだ。また、ドライブでの外出やレクリエーション・作品づくり等の充実を図り、楽しみを持ちながら過ごしていただけるよう取り組んだ。稼働率は1日平均12.0名で、前年を上回った。

職員体制では1名が離職し、慢性的な職員不足でサービスの質の低下を招いた時期もあった。現在も職員は不足しているが職員の協力を得ながら対応している。現状を反省し離職を防ぐためにも、よりコミュニケーションを図り、働きやすい環境を整備したい。

新型コロナウイルスの影響で、面会の一部制限や行事を縮小し、入居者・職員の健康状態の把握、外部からの訪問も可能な限り制限しながら感染防止に努めた。面会は、感染状況を見ながら短時間の面会やリモート面会で対応し、遠方のご家族には入居者の様子を写真で送ったり、電話で様子を報告するなどに対応した。しかし、11月27日からコロナ感染者が相次ぎ、12月11日までに入居者11名、職員6名が感染しクラスター発生となった。ショートステイの受け入れも制限しながら対応し、感染を極力抑えるよう蔓延防止に取り組んだ。

施設面では、令和5年2月、大規模災害に備えて国の全額補助を受け、非常用自家発電設備3基設置した。

また、新年度再生可能エネルギーの太陽光発電を導入するため、令和5年3月理事会において「太陽光発電パネル機器設置工事の契約方式等について」の議案がされている。

2 入居者の定員及び事業の実施地域

(1) 地域密着型特別養護老人ホームあずま 定員 29名

(2) ショートステイあずま 定員 12名

(3) 事業の実施地域 酒田市

(4) 地域密着型特別養護老人ホームあずま登録者の状況 (令和4年度登録者数：42名)

《登録者内訳》

性別	男性	12名
	女性	30名
計		42名

地域別	東平田	17名
	中平田	13名
	北平田	5名
	その他	7名
計		42名

《退所者内訳》

他施設入所	1名
病院で死亡	5名
病院へ入院	0名
施設で看取り	7名
計	13名

(5) 月別データ

① 地域密着型特別養護老人ホームあずま

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録者数	29	29	29	28	29	28	29	28	28	28	27	29	341
延べ定員	870	899	870	899	899	870	899	870	899	899	812	899	10,585
延べ利用	870	887	849	889	892	861	899	859	854	866	765	875	10,366
稼働率	100.0%	98.7%	97.6%	98.9%	99.2%	99.0%	100.0%	98.7%	95.0%	96.3%	94.2%	97.3%	97.9%
平均介護度	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.0	4.2

② ショートステイあずま

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録者数	26	31	27	29	34	32	29	30	27	29	30	29	353
延べ定員	360	372	360	372	372	360	372	360	372	372	336	372	4,380
延べ利用	359	387	362	354	395	384	381	341	345	380	347	375	4,410
稼働率	99.7%	104.0%	100.6%	95.2%	106.2%	106.7%	102.4%	94.7%	92.7%	102.2%	103.3%	100.8%	100.7%
1日平均	11.9	12.4	12.0	11.4	12.7	12.8	12.3	11.3	11.1	12.2	12.3	12.1	12.1
平均介護度	2.9	2.7	2.8	2.7	2.5	2.5	2.7	2.6	2.5	2.5	2.4	2.6	2.6

3 主な職種の勤務体制：特別養護老人ホームあずま及びショートステイあずま

	職 種	勤 務 体 制
1	施設長（管理者）	常 勤 （ 8：30～17：15）
2	医 師	非常勤 毎週火曜日 （14：00～16：00）
3	生活相談員	常 勤 （ 8：30～17：15）
4	介護支援専門員	常 勤 （ 8：30～17：15） 特別養護老人ホームのみ配置
5	介護職員	常 勤
		早 番 （ 7：00～15：45）
		日 勤 （ 9：45～18：30）
		遅 番 （13：30～22：15）
		夜 勤 （22：00～ 8：15）
		非常勤 （10：00～15：00）
6	看護職員	常 勤 （ 8：30～17：15）
7	機能訓練指導員	常 勤 （ 8：30～17：15）
8	管理栄養士	常 勤 （ 8：30～17：15）

4 基本利用料金

（1） 特別養護老人ホームあずま

第1段階 本人及び世帯全員が住民税非課税で、老齢福祉年金の受給・生活保護の受給者						
介護度	施設サービス費1割		食費 (日額)	居住費 (日額)	1カ月の利用料金 (1割)	
要介護 1	661円		300円	820円	55,211円	
要介護 2	730円				57,350円	
要介護 3	803円				59,613円	
要介護 4	874円				61,814円	
要介護 5	942円				63,922円	

第2段階 本人及び世帯全員が住民税非課税で、合計所得金額+課税・非課税年金の収入額が80万円以下の方						
介護度	施設サービス費1割		食費 (日額)	居住費 (日額)	1カ月の利用料金 (1割)	
要介護 1	661円		390円	820円	58,001円	
要介護 2	730円				60,140円	
要介護 3	803円				62,403円	
要介護 4	874円				64,604円	
要介護 5	942円				66,712円	

第3段階① 本人及び世帯全員が住民税非課税で、利用者負担段階が第2段階以外の方。合計所得金額+課税・非課税年金の収入額が80万円超120万円以下の方						
介護度	施設サービス費1割		食費 (日額)	居住費 (日額)	1カ月の利用料金 (1割)	
要介護 1	661円		650円	1,310円	81,251円	
要介護 2	730円				83,390円	
要介護 3	803円				85,653円	
要介護 4	874円				87,854円	
要介護 5	942円				89,962円	

第3段階②	本人及び世帯全員が住民税非課税で、利用者負担段階が第2段階以外の方。合計所得金額+課税・非課税年金の収入額が120万超の方					
介護度	施設サービス費1割		食費 (日額)	居住費 (日額)	1カ月の利用料金 (1割)	
要介護 1	661円		1,360円	1,310円	103,261円	
要介護 2	730円				105,400円	
要介護 3	803円				107,663円	
要介護 4	874円				109,864円	
要介護 5	942円				111,972円	

第4段階	(基準費用額) 第1段階～第3段階に該当されない方					
介護度	施設サービス費1割	施設サービス費2割	食費 (日額)	居住費 (日額)	1カ月の利用料金 (1割)	1カ月の利用料金 (2割)
要介護 1	661円	1,322円	1,445円	2,006円	127,472円	147,963円
要介護 2	730円	1,460円			129,611円	152,241円
要介護 3	803円	1,606円			131,874円	156,767円
要介護 4	874円	1,748円			134,075円	161,169円
要介護 5	942円	1,884円			136,183円	165,385円
介護度	施設サービス費3割		食費 (日額)	居住費 (日額)	1カ月の利用料金 (3割)	
要介護 1	1,983円		1,445円	2,006円	168,454円	
要介護 2	2,190円				174,871円	
要介護 3	2,409円				181,660円	
要介護 4	2,622円				188,263円	
要介護 5	2,826円				194,587円	

おやつ代1日60円

① その他介護保険サービス費

加 算 項 目		料 金		
		1割負担	2割負担	3割負担
初期加算 (入所から30日)		30円	60円	90円
日常生活継続支援加算		36円	72円	108円
栄養マネジメント強化加算		11円	22円	33円
療養食加算		6円	12円	18円
サービス提供体制強化加算Ⅱ		18円	36円	54円
看取り 介護加算	死亡日45日前から31日前	72円	144円	216円
	死亡日以前4日以上30日以下	144円	288円	432円
	死亡日前日及び前々日	680円	1,360円	2,040円
	死亡日	1,280円	2,560円	3,840円
介護職員処遇改善加算 (Ⅰ)		総単位数(月)×8.3%		
介護職員等ベースアップ等支援加算		総単位数(月)×1.6%		

(2) ショートステイ

要介護認定区分	従来型個室（自己負担分）			多床室（自己負担分）		
	1割負担	2割負担	3割負担	1割負担	2割負担	3割負担
要支援 1	446 円	892 円	1,338 円	446 円	892 円	1,338 円
要支援 2	555 円	1,110 円	1,665 円	555 円	1,110 円	1,665 円
要介護 1	596 円	1,192 円	1,788 円	596 円	1,192 円	1,788 円
要介護 2	665 円	1,330 円	1,995 円	665 円	1,330 円	1,995 円
要介護 3	737 円	1,474 円	2,211 円	737 円	1,474 円	2,211 円
要介護 4	806 円	1,612 円	2,418 円	806 円	1,612 円	2,418 円
要介護 5	874 円	1,748 円	2,622 円	874 円	1,748 円	2,622 円

要介護認定区分	ユニット型(空床型) (自己負担分)		
	1割負担	2割負担	3割負担
要支援 1	523 円	1,046 円	1,569 円
要支援 2	649 円	1,298 円	1,947 円
要介護 1	696 円	1,392 円	2,088 円
要介護 2	764 円	1,528 円	2,292 円
要介護 3	838 円	1,676 円	2,514 円
要介護 4	908 円	1,816 円	2,724 円
要介護 5	976 円	1,952 円	2,928 円

① その他介護保険サービス費

介護サービス加算	利用料			備 考
	1割負担	2割負担	3割負担	
短期入所生活介護 送迎加算（片道）	184円	368円	552円	利用者の自宅から当該施設まで 当該職員が送迎した場合
サービス提供体制 強化加算Ⅱ	18円	36円	54円	常勤換算で介護福祉士を全体の 60%配置している場合
短期生活処遇改善加算Ⅰ				1カ月の総単位数に8.3%を乗 じた額
介護職員等ベースアップ等 支援加算				1カ月の総単位数に1.6%を乗 じた額

② 滞在費及び食費

利用者負担区分	第1段階	第2段階	第3段階①	第3段階②	第4段階
多床室	0 円	370 円	370 円	370 円	855 円
従来型個室	320 円	420 円	820 円	820 円	1,171 円
ユニット型	820 円	820 円	1,310 円	1,310 円	2,006 円
食費 (1日あたり)	300 円	600 円	1000 円	1,300 円	1,445 円

おやつ代1日60円

5 職員配置状況

令和4年3月31日現在

No.	勤務形態	職 種	氏 名	備 考
1	正職	施設長兼生活相談員	佐 藤 崇	
2	正職	生活相談員兼事務員	宇佐美 輝 子	
3	臨時	介護支援専門員	土 田 よし子	
4	正職	管理栄養士	本 田 智 子	
5	臨時	看護師兼機能訓練指導員	伊 藤 結 美	
6	正職	看護師兼機能訓練指導員	田 中 陽 子	
7	正職	あさひユニットリーダー	山 口 睦 美	
8	正職	特養介護職員	相 蘇 真由美	
9	正職	特養介護職員	佐々木 桂	
10	臨時	特養介護職員	佐々木 雄 樹	
11	臨時	特養介護職員	淵 田 真	
12	正職	特養介護職員	池 田 美 和	
13	正職	たかおユニットリーダー	鈴 木 央	
14	正職	特養介護職員	高 橋 みず穂	
15	臨時	特養介護職員	荒 木 克 広	
16	正職	特養介護職員	高 橋 ひとみ	
17	臨時	特養介護職員	櫛 引 由美子	
18	臨時	特養介護職員	本 間 孝 史	
19	正職	おおもりユニットリーダー	池 田 裕 昭	
20	正職	特養介護職員	斎 藤 真 澄	
21	正職	特養介護職員	阿 部 明 美	
22	臨時	特養介護職員	佐 藤 実	
23	正職	特養介護職員	佐々木 由 香	
24	正職	ショートステイリーダー	田 中 宏 樹	
25	正職	ショートステイ介護職員	阿 部 夢 奈	
26	正職	ショートステイ介護職員	伊 藤 恵 美	
27	臨時	ショートステイ介護職員	阿 部 若 菜	
28	臨時	ショートステイ介護職員	斎 藤 亜希子	
29	非常	特養兼ショートステイ介護職員	堀 祐 子	
30	非常	夜間宿直員	前 田 紋 一	
31	非常	夜間宿直員	齋 藤 光 正	
32	非常	夜間宿直員兼送迎職員	佐 藤 勝 彦	
33	非常	日勤業務員	阿 部 とくみ	令和4年12月27日 採用
34	非常	嘱託医	矢 島 恭 一	
35				
36				

6 退職者

No.	勤務形態	職 種	氏 名	備 考
1	正職	特養介護職員	土 井 和嘉子	令和4年 3月31日 定年退職
2	非常	日勤業務員	庄 司 二三子	令和4年 8月31日 退職
3	非常	日勤業務員	長 沢 たか子	令和4年11月30日 退職
4				
5				

地域包括支援センターひがし拠点 事業報告書

自 令和4年4月1日

至 令和5年3月31日

社会福祉法人東平田福祉会

令和4年度 社会福祉法人東平田福祉会
地域包括支援センターひがし拠点事業報告

1 事業内容

地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう保健、福祉、医療、介護などの身近な総合相談窓口として、酒田市から委託を受けて運営を行った。地域トータルコーディネートを目的として認知症地域支援推進員、第2層生活支援コーディネーターを配置し、機能強化を図り、三職種と連携し、さらに専門的アプローチにより、地域の課題やニーズ、関係機関と連携し、地域にある力を活かした地域づくりを目指した。

新型コロナウイルス感染症予防を行いながら、職種別・課題別の取り組みとして、認知症グループでは、酒田市の認知症カフェ支援。軽度認知障害(MCI)と認知症予防を自治会サロン等で周知を拡大し、認知症予防の啓発に繋がった。一般介護予防グループでは、高齢者支援課と連携し、いきいき百歳体操の継続支援を行い、健康課・コミセンと連携し、北平田地区のロコモ運動「まめでくらそう会」の継続支援を行った。東平田地区は参加人数の減少のため休止。生活支援コーディネーターグループでは、通所型B「健康塾」の継続支援。昨年度、実施した生活支援アンケート調査の分析結果を基に、地域包括ケアネットワーク会議を開催。高齢者をひとめとめにした考え方ではなく、多様な取り組みを望んでいるとの意向あり今後に繋げていく。また、住民有志のワークショップ、北平田地域ビジョン原案作成検討委員に参加し、除雪や移動、買い物支援などの高齢者の困りごとについて検討や新たな社会資源の構築にさらに取り組みを行った。

地域包括ケアの推進では、自治会からの理解と協力によりいきいき百歳体操、自治会サロン立ち上げ、継続支援を推進してきたが、昨年同様、新型コロナウイルス感染症予防を行いながら開催した。孤立による認知症への心配やADL低下につながらないように、地区の介護予防の催し等へ講師依頼があった際は、感染予防対策を徹底し参加。戸別訪問による実態把握や「ひがしだより」の配布、回覧等で地域との繋がりが切れないように努めた。また、経済的虐待、家族が精神疾患があり、重層的課題を抱えている場合には関係機関と一緒に高齢者支援にとどまらず、世帯全体への支援も行った。

2 事業

(1) 総合相談事業

(2) 地域包括ケア推進事業

3 業務内容

(1) 高齢者または家族に対する高齢者総合相談、支援業務（介護保険対象外のサービスを含む）

① 地域におけるネットワーク構築の推進 関係機関との連携

ア サロン協力員の情報交換会の開催（中平田・北平田・東平田）

イ 地域ケア会議の開催（小地域ケア会議3回、地域包括ネットワーク会議1回）

ウ 地域課題の把握・整理

エ 自立支援型地域ケア会議への参加

② 実態把握業務 75歳高齢者の把握 個別訪問（要介護者台帳整備、定期訪問、サービス未利用者・未更新者・独居・老世帯）

③ 総合相談業務 相談受付時の初期対応と継続的、専門的な相談支援

- ④ 認知症高齢者に対する総合的支援 認知症初期集中支援チームとの連携 認知症地域支援推進員配置 安心お帰り登録申請（6名） 認知症カフェ（酒田市12回、法人のすみれカフェ11回） 認知症サポーター養成講座（5回）
- （2）高齢者に対する虐待の防止、早期発見等権利擁護業務
 - ① 成年後見制度の活用
 - 日常生活自立支援事業とインフォーマルサービスの活用
 - ② 老人福祉施設への措置
 - ③ 高齢者虐待防止と対応（相談受付1件）
 - ④ 困難事例への対応
 - ⑤ 消費者被害の防止及び対応
- （3）困難ケースの対応における介護支援専門員への支援等、包括的継続的ケアマネジメント
 - ① 包括的、継続的なケアマネジメント体制の構築
 - ② 地域における介護支援専門員同士のネットワーク構築支援や実践力向上（圏域内研修5回、事例検討会1回）
 - ③ 日常的個別相談、指導、助言、個々の介護支援専門員へのサポート
 - ④ 支援困難事例への指導、助言
 - ⑤ 介護予防マネジメントに関する介護支援専門員との連携
- （4）地域支援事業及び介護予防給付・総合事業に関する介護予防ケアマネジメント
 - ①ア 要支援者・総合事業事業者に関するケアマネジメント（一部委託）
 - イ 一般介護予防事業のすこやかマスターズ事業紹介と受付、いきいき百歳体操（13か所継続支援）、まめでくらそう会（東平田、北平田継続支援）
 - ウ 地域性に応じた居場所づくりの企画、実施（継続支援20自治会）
 - エ 介護予防体制づくりとして通所型B継続支援（東平田地区健康塾）
 - ② 地域包括ケア推進
 - ア 医療、介護、地域等の関係機関との連携体制強化
 - イ 生活支援・介護予防の基盤整備（通所型B東平田地区健康塾）
 - ウ 資源開発（地域の不足するサービスの把握、サービスの担い手の養成、高齢者が担い手として活動する場の確保）
 - エ ニーズと生活支援等サービスのマッチング
 - オ 地域支援計画の作成
 - ③ 地域包括支援センター全体会議6回、センター長会議6回
 - ア 職種別・課題別会議
 - イ センター内外研修（オンライン研修等）と包括内ミーティング
- 4 利用料金
 - 自己負担なし
- 5 事業実施日
 - 祝祭日、年末年始を除く月曜日から金曜日まで（8時30分～17時15分）
 - ※ただし、時間外は携帯電話への自動転送。夜間、休日の緊急時または希望時の対応可。

6 職員配置

(1) 職員配置

職 名	氏 名	資 格	職務形態	備考
センター長	堀 由美子		常勤／兼務	R5.1.1～ 生活コーディネーターで勤務
保健師等	菅 原 恵里奈	看護師	常勤／専任	
第2層生活支援 コーディネーター	渡 部 匠	社会福祉士	常勤／専任	R5.1.1異動
社会福祉士	児 玉 明日香	社会福祉士	常勤／兼務	R4.10.28～ R5.3.31産休育休
社会福祉士	柏 倉 ます子	社会福祉士	常勤／専任	R5.1.1～勤務
社会福祉士	小野寺 早 苗	社会福祉士	常勤／専任	R4.8.22～ R5.3.31退職

